

2 個別事業評価調書

団体名： 笠置町

事業名		医療費適正化対策事業					
事業の概要		いつまでも元気でいつづけたい気持ちは皆共通の思いであり、願いでもあります。しかし、日常生活を送る上で多かれ少なかれ病にかかるケースが当然にあり、疾病状況や個人の判断に差があるにせよ、その場合には病院へ受診することとなります。 しかし、ちょっとした日々の注意や健康検診によって、未然に防げる疾病も少なからず存在し、それが自己の健康対策となるのですが、現代社会においては、仕事や家事に追われなかなか実行することが難しいケースがほとんどであると考えます。 そこで行政として、自己の健康状態の確認や、疾病状況を住民に再確認してもらうことにより、健康に対して改めて関心を持っていただき、いつまでも健康でいきいきとした生活を送っていただけるよう働きかけたいと思います。					
		事業期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日				
		総事業費	1,818千円	本年度事業費	1,818千円	交付金交付額	460千円
事業評価	事業の必要性	事業内容の1つとして人間ドックの受診を斡旋しています。 人間ドック受診により自己の健康状態を認識していただき、日常生活を送る上で何に気をつけなければならないかといった注意を促すことができると考えます。					
	事業の有効性	この事業の目的として、住民の自己の健康確立を目的としています。同時に、病院受診率の低下に伴う医療給付費等の抑制も目的としています。 適正な医療受診をされているか(過誤請求されていないか)という判断・監視体制としてレセプト点検を委託しているのもその1つです。 レセプト点検については、他の自治体では専門職員を雇用し実施しているところもありますが、笠置町では人件費削減の中で専門職員を雇用することができないことから、事業委託しているところです。					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果 人間ドック受診斡旋については延べ15人の受診があり、住民の自己の健康に対する関心を促しました。また、レセプト点検委託によって316千円の医療費過誤請求を是正しており、延べ4,334世帯を対象に実施した医療費通知では、医療にかかれた方の受診状況を通知し、自己の医療費状況等の把握及び医療の不正請求の抑制に努めました。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。